



第148号

平成28年2月1日発行

議会だより

 2P 議長新春あいさつ

 6P 常任委員会レポート

 8P 一般質問

 17P 追跡レポート

 18P グループ紹介 翁菊民踊研究会

3月議会予定

住民代表としての責任



議長 三留 享

皆さまにおかれましては、輝かしい新年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

日頃より、阿久比町政そして、阿久比町議会に対する暖かいご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、スポーツ界における若手の台頭やノーベル賞受賞、小惑星探査機「はやぶさ」の快挙等、明るいニュースはあるものの、若者の就職難にも見られるように日本経済は深刻な状況が続いており、また近隣諸国との領土問題、朝鮮半島の緊張の高まり等、非常に憂慮される状況であり、まさに内外

とも難題が山積しております。

阿久比町におきましても、国家財政と同様に非常に厳しい状況であり、苦しい財政運営を余儀なくされております。加えて今日、地方行財政の運営には、時代の変化による構造的な環境変化が加速し、戦略的な政策形成と実行が一段と重要性を増しております。

このような状況のときほど、限られた財源を最大限効率的に使って、住民により高い満足感を与える工夫と知恵が必要となります。

私たち、町議会としましては、このような状況の中、時代を見据えた情勢分析に心がけ、町民の皆さまが

住みやすいまち・元気なまちの実現のために効率的でより効果的な行政をめざし、町当局と切磋琢磨しながら力を合わせて町政運営に力を尽くして参りたいと考えております。

昨年の阿久比町議会を振り返りますと、各種条例・予算を審議するとともに、11件の意見書を採択するなど、鋭意努力いたしました。

また水道第3供給点調査特別委員会、議会改革調査特別委員会、政治倫理審査会を立ち上げ、行政執行内容のチェックと議会・議員の適正化にも努力してまいりました。

地域主権が叫ばれている中、地方自治の根幹である二元代表制の一方

の責任機能として、住民に直結し、住民を代表する議員の使命と責任は極めて重いものと考え、阿久比町を持つ地域の特性を踏まえた、よりよい町づくりのために、鋭意努力を重ねて行く所存でございます。

最後になりましたが、皆さまの更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。この1年が皆さま方にとりまして、健やかで、すばらしい年になりますことを祈念し、新春のあいさつといたします。



平成22年第4回定例会

可決

阿久比町公共用物の管理に関する条例の一部改正 使用料の額を変更

反対討論

杉野 明議員

- ①県下の地価が下がったというが、評価見直しは3年に一度であり、なぜ今回引き下げなのか。一方看板類は引き上げられており、具体的な資料の提示もなく、適切かどうかの確認ができない。
- ②この議案は自治事務であり、県の指示は越権行為。
- ③関係会社はいずれも大企業で、本町にとっては貴重な自主財源。企業の社会的責任を求めるべき。

可決

第5次阿久比町総合計画基本構想の制定

- ◎「安全・安心・安定」を基本に、自然と調和した快適なまちづくり
- ◎「阿久比らしさ」を創造する、誇れるまちづくり
- ◎「参画と協働」でつくる、自立したまちづくり

反対討論

石川 英治議員

平成3年策定の第3次、平成14年策定の第4次で墓地に関して、町民の増加により需要が高まっているとある。今、本町は人口増加率が県内で1番であり、これからの阿久比を見据えた時、墓地に関してはさけて通れない。第5次の中にもきちんと明記すべきである。

反対討論

杉野 明議員

基本構想のみでなく基本計画も議決対象にすべき。

- ①住民の不安は公共料金等の値上がりによる負担額。負担軽減のための施策を工夫して講ずるべき。
- ②本来自治体が行うべきことを「参画と協働」という言葉で住民に押しつけるのは間違い。
- ③男女共同参画は、役場が率先して女性職員を幹部に登用すべき。
- ④平和行政の記述がない。
- ⑤墓地公園の記述がない。

反対討論

澤田 道孝議員

意味のない美化語を多く使用し、多岐に渡り書かれているが内容に実現性がない。



1月17日 雪化粧したふれあいの森

同意

監査委員の任命

せき また お
関 又 男 氏 (白沢台)

平成23年1月26日をもって任期満了につき再任



議案等

- ◎全員賛成可決
- 賛成多数可決
- ×否 決

議案

- 阿久比町公共用物の管理に関する条例の一部改正
- 阿久比町行政財産の目的外使用に係る使用料条例の一部改正
- 阿久比町道路占用料条例の一部改正
- 知多地区広域行政圏協議会の廃止
- 第5次阿久比町総合計画基本構想の制定
- 平成22年度阿久比町一般会計補正予算
- 平成22年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算
- 平成22年度阿久比町下水道事業特別会計補正予算
- 平成22年度阿久比町水道事業会計補正予算

同意案

- ◎監査委員の選任

第4回臨時会(平成22年11月29日)

議案

- 阿久比町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正
- 阿久比町特別職の職員の給与及び旅費並びにその支給方法に関する条例の一部改正
- 阿久比町教育委員会教育長の給与並びに勤務時間等に関する条例の一部改正
- 阿久比町職員の給与に関する条例等の一部改正

反対討論 杉野 明議員

日本経済の6割を占める労働者の所得は、下がるばかりで、購買力がなく、物が売れない。物が売れないから値段を下げる、値段を下げると人件費も下がる。まさにデフレスパイラルの経済である。

今の日本を元気にする経済対策は労働者の懐を暖めること、公務員の人件費を削減することはさらなるデフレスパイラル経済に陥る最悪の経済対策であることを指摘する。

承認

- ◎専決処分の承認を求めること(防火水槽撤去工事)

第1回臨時会(平成23年1月24日)

議案

- ×阿久比町に副町長を置かない特例条例の制定の修正動議
- 阿久比町に副町長を置かない特例条例の制定
- 阿久比町議会議員の定数を定める条例の一部改正の継続審査を求める動議
- 衣浦西部都市計画小廻間地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部改正
- 衣浦西部都市計画阿久比下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正
- 平成22年度阿久比町一般会計補正予算

同意案

- 副町長の選任



町民の声を内閣総理大臣などに提出

賛成多数 TPP交渉への参加反対に関する意見書

提出者 竹内 松彦議員

賛成討論 杉野 明議員

TPP参加は関税及び非関税措置をすべて撤廃すること。日本の農産物の平均関税率はすでに12%まで下がっている。多くの国は20%～43%と自国の重要品目には関税をかけ国内産業を守っている。日本全産業の雇用や国民生活全体の問題として、国民的な議論が必要。

賛成多数 中国の領海侵犯から尖閣諸島を守るための意見書

提出者 岡戸 宏之議員

反対討論 杉野 明議員

尖閣諸島は「無主の地」であった所を1895年日本政府が閣議決定で日本領に編入。このことは国際法で認められており、今領有を主張する中国は、1970年までの75年間、日本の領有に対して一度の抗議もしていない。自衛隊の派遣ではなく、歴史上の明確な根拠を示し理を尽くして話し合い、今後の東アジアの平和と安定に貢献すべき。

陳情

- ① 市町村管理栄養士設置に関する陳情書
- ② 保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情書
- ③ 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書
- ④ 国への意見書提出を求める陳情書（社会福祉施設に係る最低基準の廃止を行わず抜本的に改善することを求める意見書）
- ⑤ 国への意見書提出を求める陳情書（国の責任による社会福祉施設の充実を求める意見書）
- ⑥ 地方自治体において明確にされた住民意志を尊重し国家政策に反映することを政府に求める意見書提出に関する陳情書

議会改革調査特別委員会調査報告（平成22年9月16日）

調査検討項目	現 状	改 革 提 案
1.一般質問のあり方について		
①質問席について	①壇上及び自席	①②③現状維持
②質問回数について	②一問一答方式	・第1答弁者は、町長
③通告について	③質問要旨を通告	・質問終わった議員は答弁書を受け取る
2.議員定数について	16名	現状維持
3.委員会の構成	総務文教委員会8名（現在7名） 建設厚生委員会8名（現在7名）	・総務建設委員会8名 ・文教厚生委員会8名
4.議会事務局の体制について		
①職員定数	①定数2名	①定数3名
②事務局長職責	②課長級	②部長級
5.議員倫理条例について	条例制定済み	規則等の規定の検討
6.その他		

総務文教

第5次総合計画基本構想の制定

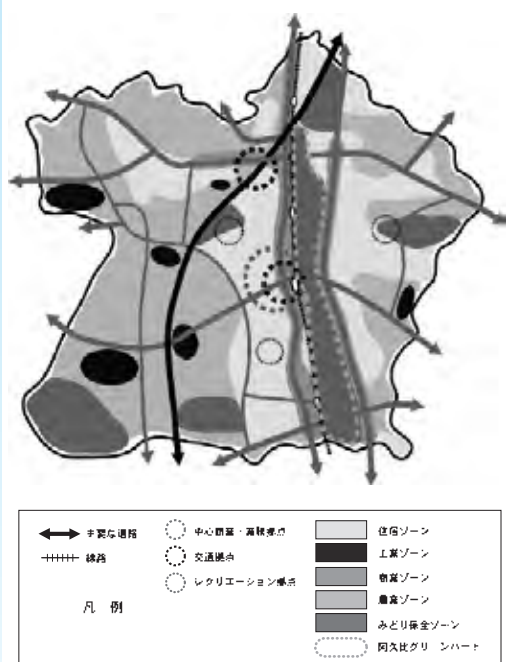
当委員会に付託された議案4件を審議した。

主なものは、町行政財産の目的外使用に係る使用料条例の一部改正で、45,191円の減額である。

第5次阿久比町総合計画基本構想の制定では、社会情勢等の変化に対応できるようにとの意見などがあつた。

平成22年度一般会計補正予算では、給与システム業務などを職員で対応できないかとの意見があつた。表決の結果全員賛成3件、賛成多数1件で原案のとおり可決した。

(勝山 制議員)



土地利用構想図

公共用物とは

国または地方公共団体等の行政主体により、道路、河川、公園などのように、直接、一般公衆の共同使用に供されるもの。

道路占用とは

道路は本来、一般交通のために使用されるものですが、実際には交通の用以外にもライフラインとなる水道管、ガス管、電柱等や商店の袖看板、日よけ等の施設が道路上だけでなく、地下や上空に設けられています。

道路の占用とは、本来の用以外に道路に一定の施設を設け、継続して道路を使用することをいいます。

当委員会に付託された議案6件を審議した。

議案の主な内容は、公共用物の管理に関する条例・道路占用料条例の一部改正と平成22年度一般会計・国民健康保険特別会計・下水道事業特別会計・水道事業会計の補正予算である。

公共用物の使用料の額の変更については、県の指導及び定めに従うことなく本町独自の使用料を定めるべきとの意見があつた。

表決の結果議案6件は、全員賛成あるいは賛成多数ですべての議案が可決した。

(大村文俊議員)

建設厚生

公共用物の使用料の変更

視察研修報告

保育所園庭芝生化

総務文教委員会

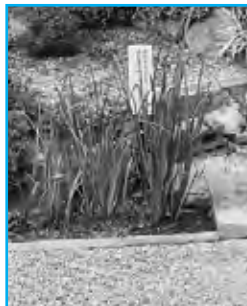
伯耆町立こしき保育所



鳥取県伯耆町^{ほうき}へ安心子ども基金事業で実践している保育所園庭芝生化の取り組みを視察しました。
鳥取県倉吉市では、定住自立圏構想、倉吉パークスクエア、花かつみなどの取り組みについて研修しました。
文化、観光、産業、娯楽機能が融合した倉吉パークスクエアや、平成22年6月に阿久比町より倉吉市内の山名寺^{やまな}の庭園に里帰りし移植された現地を視察し、大切に管理されておりました。

立て札

「愛知県知多郡阿久比町より
倉吉市に贈られた花かつみ」



山名寺の庭園

まちづくりは魅力づくり

建設厚生委員会



近江八幡市



栗東市

近江八幡市では、「風景づくり条例」、栗東市では「健康づくりネットワーク」と「地域ふれあい敬老事業」について視察しました。

八幡堀は、無用な長物だと埋め立てが始まりかけたとき、青年会議所による八幡堀の保全修景運動『堀は埋めた瞬間から後悔が始まる』の活動から、風景づくり、都市景観大賞を受賞する風景づくり条例となった経過を聞き、その間に運動を進めていた方が市長になり、自分たちのまちは、自分たちの力で動かすことができる。町に対する熱い思いがあればこそ成し遂げることができたのだと感じました。

栗東市では、人口増加について、まちづくりは魅力づくりである。人が集まるまちには、よい施策がある。ということ学び他市町を訪れることは、色々な発見もあり、とても勉強になります。

Q&A 一般質問 ここが聞きたい 町政を問う

平成23年度予算編成は

まちの将来像に向けて



鈴木 一夫 議員

Q

3期目の当選を祝し、今後も阿久比町民の安全・安心、阿久比を希望のまちにするため、足腰の強いリーダーとして頑張ってください。

① 23年度予算の骨子、重点施策は。
② 地方交付税、国・県の影響は。
③ 町税収入額の影響は。
④ ムラ、ムリ、ムダの削減をどうするか。
⑤ 町長として特に重点として取組むものは。

A

① まちの将来像である「みどりと共生する快適生活空間・あぐい」を目指すまちづくりを推進していく。
② 今後の地方財政計画の動向に注視していく。
③ 今年度税収見込みと比較すると、1%程度の減とみている。
④ 経費全般の見直しを行い、徹底的な削減、合理化を図っていく。
⑤ 新保育園の建設、上水道第3供給点の整備、循環バスの試行運行、水道料金の引き下げなど。

町長給料カットは

審議会にゆだねる

Q

町長は、選挙の直前になつて町長の給料をカットすると選挙公報に掲載された。具体性もなく思いつき、格好だけのパフォーマンスと言わざるをえない。以下3点を伺う。

① 選挙公報に突然公表されたがいつ頃思いついたか。
② 相手候補は以前から30%を削減し、その分を福祉や教育の予算にと言っているが町長は何%を削減するか。
③ 実施する時期とその目的は。

A

① 給料カットについては以前から考えていた。3期目の町長選挙に臨むにあたり、公約の一つにすることとした。
② 具体的には決めていない。現行の給料が適正であるかどうかも含め、私の給料をカットしてほしい旨の要望を付して、特別職報酬等審議会に諮問する。
③ なるべく早く実施したい。目的は、経費節減による町施策の一助。

町民1%予算枠は

町民が決める

Q

公約にある1%町民予算枠とはについて伺う。

町民が決める予算枠の創設とあるが具体的にどう進めるか見えない。これも思いつきのバラマキのように感じる。厳しい財政の中で、恒久的ならもっと大変である。以下3点を伺う。

A

① 地域のニーズに合った税の活用のため、有効な使い道を町民の皆様と決める「1%町民予算枠」を設置する。
② 個人住民税の1%を予算枠とし、使い道は町民の皆さんから提案してもらう。それを協議検討して町民の皆様の想いをかなえるための事業を実施したい。
③ 来年度中に制度を研究し、平成24年度から実施したい。



杉野 明 議員

住宅リフォーム助成を 動向をみながら検討



リフォーム中

Q 景気の低迷で家の新築件数が落ち込んでいる。蒲郡市では、住宅のリフォームをする際、20万円を限度に工事費の10%を補助する「住宅リフォーム助成制度」を導入した。多くの建築関連業種に仕事が回ることによって経済効果が期待されている。

①この制度をどう評価するか。
②本町で実施する考えは。

A ①この制度は、住宅の屋根の葺替、外壁の塗装等の改修工事、床の張替などを行った場合に、その一部を助成する制度で、中小企業の仕事確保や地域経済の活性化に役立つものと考えている。

②本町では、木造住宅耐震改修費補助事業や要介護認定の方々に住宅改修費の支給制度がある。新たな助成制度については、他の市町の動向をみながら検討していく。

冷暖房器具の設置を 逐次整備

Q 今年夏は猛暑で、各教室にエアコンのない小中学校ではその対策に苦労したと聞く。地球温暖化による異常気象は今後も予想され、学習に集中できる教育環境の整備は緊急の課題である。

①各小中学校の冷暖房の設置状況は。
②設置済みの物の費用はどこから出たか。
③来年度予算より順次設置する考えはあるか。

A ①扇風機が全小中学校の普通教室すべてに設置しており、エアコンは特別教室等において小学校に30カ所、中学校に8カ所設置している。また、ストーブは小学校に77台、中学校に2台配置されている。

②扇風機は町費及び寄贈、エアコンは町費、ストーブは学区会・PTAなどの寄贈により設置されている。
③整備計画をまとめ逐次整備を進める。

支援員の配置・増員を

状況に応じて配置

Q 「特別支援教室」が学校教育法に位置づけられ、すべての学校で障害のある子どもへの支援を充実していくことになった。普通学級においても個別の支援が必要な子がおり、様々な形での支援が必要となっている。

①各校の特別支援教室、コメディネーター、支援員の状況は。
②支援員の増員、スクールライフサポーター等を配置する考えは。

A ①平成14年度より学級担任と協力して、個別の学習指導を行うティームティーチング指導助手を各小学校に1名配置し、平成18年度より東部小学校に特別支援学級支援員を1名配置した。さらに平成21年度9月より生活支援員を各小学校に1名配置し、子ども一人一人にきめ細かな指導が行えるようにしている。
②各学校と調整を図りながら、特別支援学級生活支援員を増員配置したい。

その他の質問項目

●宮津地域の保育園児受け入れ体制は

環状線の早期開通とは

今後も粘り強く要望



石川 英治 議員



環状線



町長は選挙公報で環状線の早期開通を

掲げている。過去8年間、何の進展もなかった。なかったどころか県がやりたいと言った時、平面交差でなければだめだと断っている。

本年可見市でアンダーパスの所で車が水に漬かり犠牲者が出ている。

当然立交差で行うべきと考えるがどうか。

開通時期はいつ頃と考えているのか、任期内と思うがどうか。



町長が、県からの話を断ったことは、一度もない。

都市計画環状線の整備については、今年7月及び8月に県へ早期事業化の要望をしている。

県からは、土地利用等総合的に町と相談しながら検討していくとの回答があった。

今後も粘り強く要望していきたいと考えている。

住民の居場所づくりとは

2ヶ所のモデル地区



町長は住民の居場所と言っているが、

具体的にどういうことを考えているのか、あまりにも漠然としていて分からない。

どういうものを何ヶ所ぐらい作るのか、その費用はどのくらいを予定しているのか、さらにその財源について伺う。



小地域福祉活動調査研究事業の中で、白沢台と宮津団地の2か所をモデル地区として調査研究をしている。

白沢台は、11月17日に白沢台集会所において「白沢台サロン」を開設し、宮津団地は、平成23年1月開設に向け準備を行なっている。この調査研究を踏まえ各地域に広がるようにしたい。費用については、31万円の予算を計上してある。

教室のエアコン整備は

逐次整備



町長は選挙公約で教育環境の充実ということで、教室のエアコン整備を掲げている。

①一教室あたりの設置費用は。

②町内小中学校すべての教室に設置するとどのくらいの費用がかかるのか。

③年間運用費用は、どのくらいと見積っているのか。

④費用をどの様に捻出するのか。



①教室の広さ・設置スペースなどを考慮すると、天井吊型で4〜5馬力相当のエアコンが最適ではないかと考えており、150万円程度かかる。

②エアコンが設置されていない普通教室・特別教室などが小中学校全体で98あり、約1億4、700万円程度必要となる。

③主に電気料金で年間3カ月の使用と想定すると約140万円程度と見込んでいます。

④今後十分検討したい。



二井登喜男 議員

阿久比の宝を守ろう

地域と協働で



子は宝

Q

小中学校の児童、生徒を犯罪から守るため、どのような取り組みをしているか。

さらに、本町の「子ども110番の家」の現状と動向について詳しく伺う。

A

不審者への対応として、園・学校への不審者侵入を想定した不審者避難訓練、教師や保護者・子ども見守り隊による登下校時の見守り、安全・安心パトロール車による教職員や地域の方の巡回パトロールを行っている。

また、地域の方のご協力により、子どもたちが緊急時に駆け込める場所として、こども110番の家が53カ所設置されており、PTA総会や通学団会で一覧表や地図を配布し、保護者や子ども達に周知を図っている。

ワクチン助成はいつから

平成23年度を目標

Q

子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の予防ワクチン接種に対する公費助成が各自治体に広がっており、国も動き出した。

本町も公費助成を実施するのか。また、実施するのであれば、いつ頃になるか伺う。

A

病気から子どもを守ることも、保護者の負担を軽減するために子宮頸がんなどの予防ワクチン接種助成の実施を考える。

具体的な接種助成などは、厚生労働省の通達や予算編成の状況をみながら、平成23年度に実施できるよう、町の助成額や対象者などを決める。

事業仕分けは

調査研究

Q

「事業仕分け」は、町民の福祉の向上が目的であり、また同時に、町民の意識の改革に資する事業ととらえられている。

このたび、町長が公約した「事業仕分け」について、どのように取り組んでいくのか伺う。

A

事業仕分けの方法については、住民サービスを低下させないよう十分注意し、常に効率的な行政運営を念頭に置き進める。

また住民の皆様にも町政に参加していただき、より良い阿久比町を共に考えながら事業仕分けを実施できるように、今後、事業仕分けの手法、組織、体制作りなどを調査・研究しながら、住民参画、協働のまちづくりを目指す。

選挙公約の実現性は

実現に向けて努力



竹内 松彦 議員



①議員数削減を自分の選挙公約としているようだが、先の議会改革で答申したばかり、何を根拠に、そのような踏み込んでほしくない所まで、口を出すのか。

②循環バスの運行後、タクシー券助成継続であったが、つい最近までは、バスを運行したらタクシー券は廃止すると言っていた、いつから変わったのか。

また2年程前までは、「タクシーでドアツードアこれが住民にとって一番良い」とも言っていたその心境の変化は。

③休日の住民票等交付するのは、どこで、どのような形で交付されるのか。



①町民の皆様と対話を重ていく中で、現在の阿久比町の規模から見れば、町会議員の数が多すぎるのではないかという声を多く聞いた。昨今、近隣市町でも議員数を削減する決定しており、これが民意の大勢を占めていると考え、選挙公約とした。この件については、議会議員の皆様と協議し今後の方向性を決めていきたい。

②タクシー助成券の助成は廃止しない。今でもタクシーの重要性和利便性は切に考えており心境のブレはない。7月に住民2,000名にアンケートを実施し、80%を超える要望があった。その後も、検討委員会で検討を重ねて試行運行計画(案)を取りまとめた。

今後、3年間程度の試行運行をして本運行を決める。タクシー助成券は、当面現行のままとする。

③住民票の写しや印鑑証明、所得証明の交付業務を例えば町立図書館において、施設の開館日に実施することを予定しており、実施時期は、体制が整い次第行いたいと考えている。

タクシー助成券年度別利用状況

年度 区分	20年度	21年度	22年度 (11月末現在)
申込者	1,525名	1,666名	1,774名
発行枚数	45,750枚	49,980枚	53,220枚
利用枚数	18,897枚	20,186枚	15,151枚
利用率	41.3%	40.3%	28.4%



武豊町コミュニティバス

防犯灯の必要性は

住民の安心・安全のため



町道草木岩滑線中部工業団地北信号より北へ500m程が消灯されている。秋の日没は早い。子どもの安全か、稲作か、どのように考えているか。



建設当初農作物への影響が心配されていましたが、実際収量が減少する被害が確認されたので、当該地区を管轄する阿久比中部土地改良区との話し合いで、現在の点灯時間帯となっている。

その内容は、4月中旬から10月中旬は終日消灯、10月中旬から4月中旬は午後4時から翌日の午前6時までの間、暗くなると点灯することになっている。



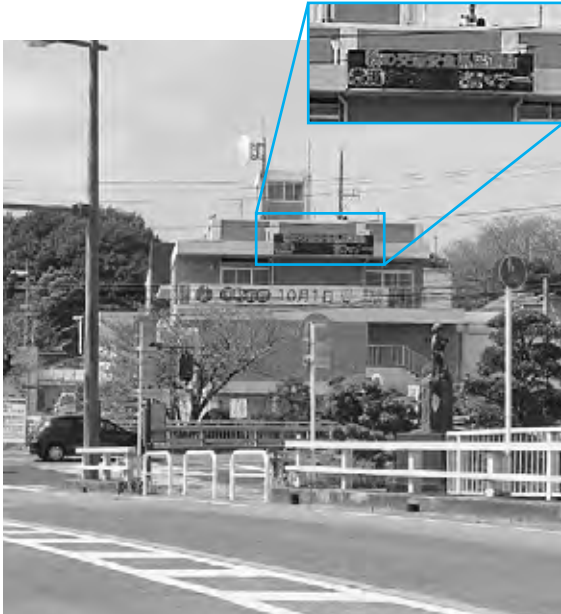
防犯灯



澤田 道孝 議員

広報あぐい11月1日号掲載記事

事実を説明



電光掲示板



11月1日号広報「あぐい」に掲載された電光掲示板の記事は、その運用費が月額17,000円と掲載されている。平成20年度に設置されてから、今までにかかった費用は約900万円である。税金のムダ使いとの声の高いこの掲示板に対しこの記事は不適切である。誰の指示で何の目的で、なぜ選挙直前の掲載、なぜ経費の全額を載せなかったのか伺う。



町民の方から、「電光掲示板の運用で、多額の経常経費が掛かっているのでは」という声を多く聞くので、事実を説明する責任があるので掲載した。誰の指示ということではなく、「広報あぐい」は、町の広報紙であるので、町として発行したもので、今回、電光掲示板に係る「月額のランニングコスト」と今年10月までの「情報発信件数実績」をお知らせしたものである。

町長の選挙公約

協働のまちづくり



①上水道のタンク設置について

上水道のタンクの必要性は理解できるが今後どのように事業推進を図っていくのか。

②水道料金の値下げについて

水道会計の累積赤字は約7,500万円ある。水道メーターの無料化をすれば800万円の赤字が加算される。水道料金の適正な値下げをどのように実施するのか。

③事業仕分けについて

竹内町長3期目になったら事業仕分けをする、ムダな事業経費の削減をする公約である。なぜ今まで事業の見直しがなされなかったのか、またムダの削減に対する目標値はあるのか、この公約はただ単に町民に受けを狙っただけではないのか。



①板山地区に設置するタンクは、水道水の安定供給と地震等災害時における飲料水の確保のために重要な施設であり、事業計画に沿って進める。

本年度の造成工事は、隣地との筆界確定訴訟に影響しないように、境界付近の現状を残しながら実施する。来年度以降は、一基目のタンク及び管理棟建設、東部地区までの本管布設等を実施し、平成25年度末までは、第3供給点を稼働させる計画である。

②本町水道事業の経営は、収益的収支で厳しい状況にあるが、メーター使用料の廃止により、水道料金の値下げを実施する。

今後の収益的収支の予測では、料金収入の増加傾向が続くと見込んでいるが、支出面では、減価償却費が増加傾向にある。赤字を解消することは容易でないが、これまでに以上に経営の効率化やコスト削減に取り組んでいきたいと考えている。

③今までも、行政評価制度を導入して、事務事業を見直し改善に努めた。より良い阿久比町を住民の皆様と共に考えながら事業仕分けを実施できるよう、今後、事業仕分けの手法、組織、体制作りなどを調査・研究しながら、住民参画、協働のまちづくりを目指す。

新庁舎建設は 検討委員会を設置



岡戸 宏之 議員

Q 先の町長選挙において、町長が掲げた公約について伺う。

A 公約に複合型庁舎（防災本部、文化ホール）を掲げている。当然これからの時代、防災拠点となるのが役場でありその拠点に防災本部を作るのは、大変素晴らしいことだと思う。災害が起きたら、すぐに防災本部が立ち上がり、町民の生命と財産を守るといふ観点から私自身大賛成である。そこで新庁舎建設の予算規模はいくらか。また財源はどうするのか。そしてこの場所に建設するのか伺う。

平成21年度末に庁舎建設基金が10億円に達したことにより、新庁舎建設に着手することとした。その第一歩として、平成23年度に基本構想を検討する委員会を設置し、建設場所規模などについて町民の皆様のご意見を聞いて進めたい。隣接する中央公民館南館についても同じように老朽化が進んでいることから文化ホール機能についても併せて考えていきたい。

新保育園の開園は 平成25年4月開園予定

農業振興と企業誘致は 土地改良事業を推進

Q 農業振興と言え、農業生産基盤の充実であると思うが、その具体的な施策は何か。現在阿久比・矢高地区、宮津地区での土地改良事業の進捗状況はどのようになっているのか伺う。

A 企業誘致については、安定した自主財源の確保、また雇用の確保の上でも重要な施策と考える。本町は、現在4地区において58ヘクタールの用地を確保し、町の自主財源、雇用機会の確保に大きく貢献している。今後、具体的にどの場所に、どの程度の規模で企業誘致を考えているのか伺う。

A 農業振興策の柱としては、阿久比・矢高地区及び宮津地区の土地改良事業を推進することであり、来年度以降は事業計画の策定に着手するため必要な予算措置を予定する。

また、安定した自主財源の確保や町民の雇用機会確保のためには、土地改良事業の計画に合わせて工業用地の確保を図るとともに、立地企業に対する助成措置を検討し、企業誘致を推進する。

Q 町立3園の統廃合は昨年度より検討されてきた。今年度に入り現在策定委員会で検討されていると思うが、以下3点について伺う。

- ① 策定委員会の進捗状況は。
- ② 新保育園での保育サービスは。
- ③ 新保育園の開園の時期は。

A ① これまで4回開催し、新園の建設場所の選定や保育サービス、施設計画を検討している。建設場所は、英比小学校南を候補地として選定された。

- ② 通常保育の他、早朝・延長保育、一時預かり保育、乳児保育、障がい児保育を予定している。
- ③ 平成25年4月の開園を予定している。



英 保 育 園



北 原 保 育 園



城 山 保 育 園



勝山 制 議員

高齢者の運転免許証 自主返納支援制度の実施を

調査研究



①阿久比町において高齢者が交通事故の加害者や被害者にならないために、運転免許自主返納支援制度の実施を。

②循環バス運行と同時に運転免許自主返納支援制度の実施を。

③運転免許自主返納支援制度が実施されている市町では、ほとんどが住民基本台帳カードの発行手数料無料化を実施している。本町での実施の考えは。

④運転免許自主返納支援制度を実施している市町では色々な支援があるが、本町では住民基本台帳カード以外の支援の考えは。



①実施は市町の状況を調査・研究していく。

②循環バスの試行運行と同時に進行うのではなく、本格運行が決まれば合わせて検討していく。

③自治体ごとに違いはあるが、住民基本台帳の発行手数料無料化が基本となっている。

④循環バスの本格運行と合わせて検討する。

⑤いろいろな内容を組み合わせる実施している自治体もあるので、市町の内容を調査研究して検討していく。

⑥運転免許自主返納支援制度を実施している市町では色々な支援があるが、本町では住民基本台帳カード以外の支援の考えは。



高齢者の運転は

学校の暑さ対策は

エアコンの設置



①昨年（2017年）に続き今年も記録的猛暑であった6月・7月には熱中症で救急搬送された人が多く出た。これまでも小中学校の暑さ対策については、さまざま議論されているが、夏季の教室は28度を

はるかに超えている。暑さ対策を伺う。

②市内の小中学校の暑さ対策の現状は。

③教室へのクーラー設置計画は。

④文部科学省からの助成の見込みは。

⑤地球温暖化や環境教育の観点から太陽光発電の設置の検討を。

⑥設置の検討を。



①教室に設置されている扇風機を活用し、風通しを良くするとともに、常に健康観察を行い健康管理に努めている。また、グリーンカーテンの設置にも取り組んでいる。

②整備計画をまとめ、逐次整備していく。

③安全・安心な学校づくり交付金による補助制度を活用したい。

④温室効果ガスの排出量を削減するためクリーンな太陽光エネルギーの活用は有意義であるので、太陽光発電システムの整備を検討したい。



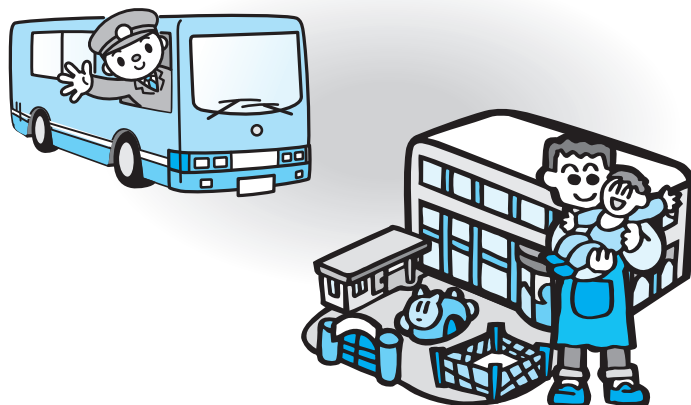
エアコン設置を

まちづくりの思いは

課題を先取り



久保 秋男 議員



Q 町長のめざす政策にある「自然と調和した快適生活空間 阿久比の建設」実現に向けた適切な行政サービス提供やまちづくりの取り組みは。

A 安全・安心・安定を基本としたうえで、自然と調和した快適な生活のできるまちを作っていきたい。
新保育園、水道第3供給点、循環バスなど、現在抱える問題だけでなく、将来必要になってくる課題にも取り組みたい。

公約の進捗状況の公表を

その都度報告

A 3月定例会の所信表明や9月定例会の諸般報告なども含め、機会があればその都度お知らせしていきたい。

Q 今後、公約実現に向けて、多くの事業を計画的に進めて行くことと期待しているが、公約の進捗状況の評価方法とその結果を公表する考えは。



阿久比町役場

予算編成は 福祉増進と

Q 国では政権交代があり来年度の予算など、町として負担増となる点、または期待される点は。

A 前年度を踏襲することなく、職員一人ひとりが町行財政を取り巻く厳しい状況に危機意識をもちつつ、委縮することなく、町民の皆様の福祉増進と町の活性化を図るための予算編成に取り組んでいく。

追跡レポート 2年前の あの答弁はどうなった!!

過去に質問した内容が現在
どうなっているか調査しました。

Q 学童保育の充実を

保護者と指導員そして阿久比町と力を
合わせて信頼関係を築き、子どもたちの
ための学童保育運営について

- 保護者の学童保育運営への参画を
- 地域の理解と協力を深め、地域との連
携を
- 来年度からの運営方針は

A 委託業者、保護者との連携を図る

- 来年度以降は、町・委託業者・保護者
と連絡調整を図りながら運営に努めて
いく。
- 地域の方々との関わりの機会の設定に
ついて、検討を加えていくことを考え
ている。
- 現在委託契約している社会福祉法人で
はなく、別の3事業者にお願いし運営
していく予定である。

現在は

- 子どもたちのための学童保育に
- 保護者とは連絡調整を密にし、信頼
関係を築いています。
 - 関係地区等との関係を密にし、連携
して学童保育運営をしています。
 - 平成21年度から特定非営利活動法人
に委託しています。



げんキッズ

Q バナー広告を

自主財源確保や地域経済の活性化にむ
けて、広報あぐい・ホームページ・電光
掲示板・封筒・阿久比グランド・マイク
ロバス等にバナー広告を掲載する考えは。

A 調査研究

本町は、近隣市町と比較すると広報紙
の発行部数・人口規模・事業所数など相
当規模が小さい。有料広告掲載について
は、「事業として成立するのか」や「町
民サービス向上及び地域経済の活性化な
どの波及効果」等について、他市町等を
参考にしながら、今後さらに調査研究し
ていく。

現在は

要網作成中であり平成23年度からホ
ームページのバナー広告を実施したい。



※イメージ図
バナー広告

グループ紹介

おうぎくみんぶ

翁菊民踊研究会



はじめまして、翁菊民踊研究会です。会の始まりは、盆おどり好きな人が集まり、昭和62年に東海市にお住まいで日本民踊研究会所属の酒井豊翁先生による指導のもと発足しました。民謡を中心に歌謡舞踊等を練習しています。

会のモットーである「踊って心にともしびを、踊りの輪を人の輪に」をいつも心に持ちながら人との交流を大切にし楽しく練習しています。活動としては、文化協会に所属し、年2回の「芸能まつり」に参加、また毎年3月下旬には、日本民踊研究会主催で金山の中京大学ホールで開催される“民踊まつり”にも出演しています。さらにボランティアで月2回のペースで介護施設に出向いて、

踊りを見てもらったり、地域の老人会等でも披露しています。楽しんで頂いてるお顔を拝見したら私たちも励みになり練習にも力が入ります。

踊りは柔軟性を養い手順を覚えることで脳が活性化し、踊った後で汗をかくことでストレスの解消にもなります。私たち会員は50代〜80代ですが、いつも気持ちは、30代〜40代のつもりで楽しく練習しています。

皆さんも踊りを始めてみませんか。年齢は関係ありません。男性の方もぜひどうぞ。

少しでも興味をもたれた方は、毎週土曜日19時30分〜21時30分まで高根台集会所で練習しています。ぜひ見学にお越し下さい。

(会代表 磯田 忠博)

第58回阿久比町文化祭 芸能大会



次回定例会

3月3日(木) (開催予定)

午前10:00～

皆さんの傍聴をお待ちしています

問い合わせ先

☎ 48-1111

FAX 48-1711

議会事務局へ

編集後記

新年おめでとうございます。今年の干支は、うさぎ。

うさぎ年の人は、上品な性格と言われています。

従って、おとなしく、しとやかな生活を望み、攻撃的な態度をとることは、めったにありません。

何事も落ち着いて、品のある行動を心がけていますので、接待などの交渉の場にむいています。

また、人一倍淋しがりやですが、自己愛が強くなりのリアリストのようです。

可愛いうさぎのように一年が皆さまにとりまして、良い年でありますように。

本年もよろしくお願いいたします。

議会だより編集特別委員会

委員長	渡辺 功
副委員長	勝山 制
委員	竹内 松彦
委員	久保 秋男
委員	大村 文俊